

【質問】医療機関の赤字報道を目にします。総医療費が増え続けているのに、なぜ医療機関は赤字になるのでしょうか。

(45歳、会社員)

## 医療機関の赤字

2025年度の全国の国立大病院の経常損益赤字は400億円を超える可能性があるとの報告がなされました。日本医師会の調査でも、医療法人立医療機関のうち24年度医療利益が赤字となった割合は45・2%でした。25年度はさらに厳しい経営状況になり、赤字となる医療機関が5割を超えるのではと考えられます。大病院、自治体病院、民間医療機関いずれもが厳しい経営を強いられているのが現状です。

## 物価高背景に経営悪化

## 診療報酬大幅アップを

このままでは、多くの医療機関が事業を断念し、医療提供を継続できなくなるという危惧されます。

アップ料が新設されましたが不十分でした。仕事が多忙で責任が重く、職業の割には収入が少なく、離職する看護師は増え、看護士を目指す学生は減少傾向にあります。看護職の人手不足は今後顕著になってくるものと思われます。

大きく医療機関にのしかかっています。急激な物価高騰に2年に1度の改定ではとても追いつかないのが現状です。特に、高額な医療機器を利用する大病院や自治体病院では、耐年限が来ても更新することができず大きな問題となっています。建物の改築もままならない状況

医療制度Q&A

診療報酬には消費税がかかります。患者から消費税を受け取ることはありませんが、薬や医療機器等を購入する際の消費税は医療機関が支払っています。物価高騰に対する不十分な診療報酬に加え、増加した消費税の負担が大

です。また、高額な医薬品や材料の増加が医療利益を下げるといわれています。薬自体には薬価差益はほとんどないものの、それに付随する諸経費が赤字を増長しています。

最先端であるロボット手術では本体価格、保守点検費用、それに伴う減価償却費といった高額な導入・維持費により治療や手術をするに逆

今後、地域の医療機関の閉鎖が増えれば安心な生活が損なわれます。医療の危機的状況を脱するには、財源を確保し、次期改定で診療報酬を大幅にアップすることが大切です。必要な人に必要な医療を届け続けるためと、ご理解ください。

(県医師会)

### 質問をどうぞ

この欄では県医師会が医療制度全般の質問にお答えします。質問希望の方は知りたい内容を分かりやすくまとめ、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「医療制度Q&A」係までお送りください。不明な点をお聞きする場合がありますので住所、氏名、年齢、性別、電話番号を明記してください。なお、直接本人への回答はいたしません。